

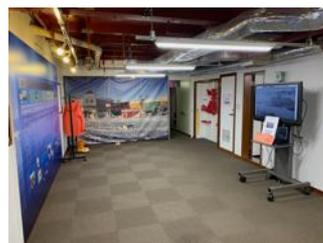
10 : SHIRASEで学ぶ南極観測と気候変動

プログラムの内容

▶ SHIRASEは1983年から2008年にかけて日本と南極の間を25往復した南極観測船です。退役後はスクラップになることが決定していましたが、「環境のシンボル」として活用しています。このプログラムはSHIRASEを通して、①南極観測の歴史と南極観測の意義について ②SHIRASEの保存に至った経緯などを学ぶことで、地球環境を考える機会とします。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】】

- ▶ **ゴール4**：質の高い教育機会を設ける
- ▶ **ゴール12**：SHIRASEをスクラップにせず保全・管理することで持続可能な消費と生産について学ぶ機会を創出する。南極での廃棄物を減らす取り組みを学ぶ。
- ▶ **ゴール13**：南極観測からわかる気候変動の現状と影響、その緩和、対応策のひとつようせいについて啓発を行う。
- ▶ **ゴール14**：南極海に生息する生物多様性の現状と海洋汚染の深刻な影響について理解を深める。
- ▶ **ゴール15**：南極の陸域における現状理解。



事前学習

南極観測事業についての意義や歴史を学ぶ。

現地学習

SHIRASEの船内を見学することによって、南極観測で得られた成果を知り、SDGsで掲げる目標の根拠や基礎を知る。

事後学習

日本が持ち帰ってきた南極観測の成果を知ることによって、自らが持続可能な社会をどのようにしたら作っていくことができるのかを考え、自らが実践できることを考える

プログラムのポイント！



- 南極という特殊な環境下でどのようなことを行っているのか、また意義は何かを考え、将来の持続可能な社会づくりをするための若者たちへ質の高い教育機会を設けること。
- 日本が南極観測で得た72万年間の気候変動の解明から、将来の気候変動の動きについて考え、具体的な対策とは何かを理解してもらうこと。
- SHIRASEが歩んできた南極への航海を知ること海の多様性を理解してもらうこと。
- 南極の陸域における現状やそこからみた宇宙の成り立ちとの比較を理解してもらうこと。

受入人数	40~60名程度
受入可能時期（休業日）	木、金、土、日
受入可能時間	10:30~12:00/13:30~15:00
体験時間	90分

対象	小学生~高校生
1人/1回 当たり料金	中学生以上500円/小学生 200円
備考（雨天対応等）	船内の為雨天決行。強風や台風通過が予想される際は乗船を中止することがあります。

▶ 問い合わせ

名称：一般財団法人WNI気象文化創造センター
 担当：SHIRASE事務局
 TEL：メールのみ受付(bunka@wxbunka.com)
 営業時間：木金土日曜日の09時~16時
 休館日：上記以外は船体管理日につき乗船不可